

## 子育てコラム 35

### 「 小学校入学 」

小学校入学は親にとって感慨深いものがあります。うれしい反面、心配や不安は尽きません。友だちはできるか、勉強に付いていけるか、給食は時間内に食べられるか、長時間座って話が聴けるかなど、親御さんからさまざまな相談を受けます。

「1年生になってからしばらくの間、家でダラダラ過ごすようになった。でも学校では頑張っているみたい」とお母さん。学校では緊張ながらも一生懸命なのです。家に帰って緊張がほぐれダラダラできる家庭は、とても安心できる場所なのでしょう。

学校では毎日沢山の出来事があります。早く親に聴いてほしいという思いで家に帰っています。ランドセルを放り、急いで脱いだ靴が散らかっていても「あのね、今日ね」の言葉にまず向き合って話を聴いてあげましょう。子どもが先に帰り、親が「ただいま」のご家庭もあります。山のような家事が待っていますが、まず子どもの「聴いて聴いて」に応えてあげましょう。時間はさほど掛かりません。「後でね」になると、話したい聴いてもらいたい気持ちが失せてきます。

友だちのことも聴いてあげてください。子どもから「友だちそんなに沢山できないよ」という声を聴きます。入学にあたって、友だちいっぱい作ろうねと、勉強頑張ろうねというメッセージを大人からもらいますが、子どもは疲れるほど頑張っていますし、友だちになりたいという気持ちもあります。

ゆっくりでいいのではないのでしょうか。何でもいっぺんにはできません。それよりも顔を見て話を聴きましょう。スキンシップもしましょう。小学生になっても親の体に触れたい、頭を撫でてほしい、体を寄せたい、という思いは変わりません。「小学生になって恥ずかしい」は、子どもにとれば痛い言葉です。

まだまだ小学生です。居心地のよい家庭があれば子どもは前に進めます。